平成２２年１０月 １ 日発行

10・11月号 （隔月刊）

日ごろのご愛顧に心より御礼申し上げます。

お知らせ

☆ １０月１６日(土)・１７日(月)、除雪機を中心の展示商談会を行います。
昨冬の大雪を受けて、今年は早くから除雪機の売れ行きが好調です。人気機種はシーズン前に品切れということも充分考えられますので、購入を御検討されている方は、ぜひオトクなこの機会に、見て、試して、ご決断ください。
当日ご来場の方には、先着 300 名様に白系のユリ「アイライナー」の球根(2 個入)プレゼントとトン汁のサービスもあります。ぜひご家族でお出かけください。

☆ 店舗ショールームも現在は除雪機の展示が中心となっています。展示商談会の前でもオトクな条件は変わりませんので、こちらへもぜひ出かけください。

☆ ショールームの「昆虫標本」の展示が１０月から「不思議な生き物」の展示に変わりました。いろいろ面白いものが並んでいますのでぜひご覧ください。

マルトミカレンダー（ １０月 ～１２月） 赤色は休業日

10 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

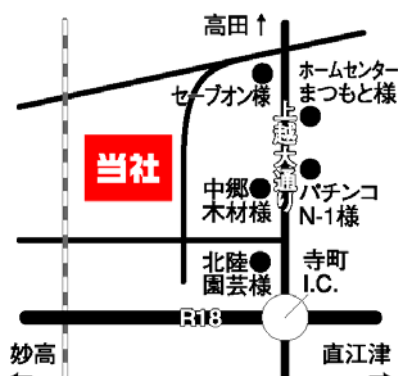
11 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※ 16～17 日 展示商談会　　※ 12/1 創立記念日

※ 降雪により除雪機が稼動する状況になった時は、休業日も 12/31～1/2 を除き臨時営業いたします。

新潟県認定農業機械整備工場(大型)・ホンダ ベスト特約店
厚生労働大臣認定ヤンマー整備士工場

株式会社 マ ル ト ミ
本社: 上越市西田中２３６－９(企業団地内)
TEL(025)524-1181　FAX(025)524-1184
E-mail: info@maru-takada.com
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http:// www.maru-takada.com

除雪機の点検はお早めに　～簡単にできる点検のポイント～

雪のシーズンがだんだん近づいてきました。
いざというときすぐに快適な作業ができるよう、早めの点検をおすすめします。
点検の際のとくに大事なポイントを3つあげておきますのでご参考にしてください。なお詳しくは取扱説明書をご覧願います。

① オイルはきちんと入っていますか。

とくにエンジンオイルの量が少なすぎたり汚れていたりすると大きなトラブルの原因となります。
エンジンをかける前にまずエンジンオイルの確認をしてください。

② バッテリーがあがっていませんか。

始動のスイッチを入れてみて、セルモーターが回らなかったり、力が弱くてエンジンがかかりにくいときは、バッテリーがあがっていることが考えられます。その場合は液量が不足していないか確認したうえで、充電器で充電をしてください。

③ 古い燃料が入っていませんか。

始動のスイッチを入れてみて、バッテリーは充分あるのにエンジンがかからなかったり、かかってもすぐ止まったりエンジン音が波打ったりする場合、キャブレターが詰まっていることも考えられます。こうした現象は、シーズン後の格納時にキャブレター内のガソリンを抜いておくことと、古い燃料を使わないようにすることで防ぐことができますが、詰まってしまったキャブレターは修理が必要です。

※ 点検の方法などで何かご不明の点がありましたらお気軽におたずねください。

耕うん機・草刈機などの格納前のお手入れについて

　除雪機とは反対に、シーズンを終えてもう来年まで使わない耕うん機や草刈機などは、長期格納の前に簡単なお手入れをしておくと、翌シーズンもトラブルなく快適にご使用いただけます。
　とくに、燃料を完全に抜いておくことと、さびやすい部分には注油しておくことが大切です。

機械の点検・修理はおまかせ下さい。

　当社は、県認定農業機械整備工場・ヤンマー農業機械整備士工場・ホンダ汎用機ベスト特約店として、点検・整備・緊急の出張修理等、全てにわたり迅速・確実・低料金にて承ります。メーカーを問わず修理できますので、ぜひご利用をお願い致します。
　故障したけれどどこに修理を頼んだらよいかお困りの機械などありましたら、まずはお気軽にご相談下さい。御見積りは無料ですのでどうかよろしくお願い致します。

除雪機の点検キャンペーンがスタートしました

当社では、10 月から除雪機の点検キャンペーンを実施しています。各部の点検とエンジンオイルの交換がセットになったオトクな点検コースと、消耗部品の交換やバッテリの充電なども含んだ軽整備コースがございます。昨冬の大雪で除雪機も酷使されたことから、今年は軽整備コースを希望される方も多いようです。皆さんもこの機会にぜひご利用ください。料金は、メーカー問わず、点検・エンジンオイル交換が小型機で 8,000 円から、軽整備は小型機で 20,000 円からとなっています。詳しくは当社のホームページを御覧いただくか、直接お問い合わせ願います。

当社のお客様の記事が農経新報に掲載されました。

8 月 31 日付農経新報の除雪機特集で、当社のお客様が紹介されました。ホンダのハイブリッド除雪機をお使いの倉さんと、ブレード除雪機・ユキオスをお使いの「住宅工房クラフト」の大島社長のお二人です。

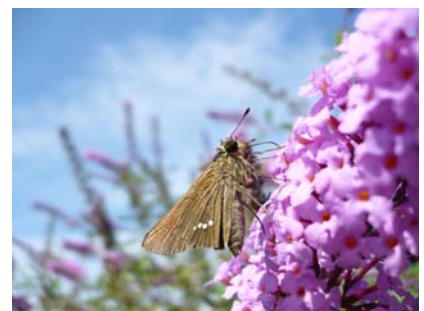
もちろんそのようにお願いしたわけではないのですが、お二人からは共に、とてもいい、買ってよかったとのコメントをいただき大変有難く、それに今回、メーカーのホンダ技研さんが、全国に数ある販売店の中から取材先として当社を推薦してくれたのも嬉しいことでした。

倉さん、大島社長、お忙しい中取材にご協力いただき、大変有難うございました。

西田中公園バタフライ・ガーデンのいまの様子

記録的な夏の暑さから一転、いきなり秋の涼しさがやってきて待望の雨も降ったと思ったら、今度はその雨が降りすぎて稲刈りができない状況が長く続きました。一年中、本当に異常続きです。

それでも、チョウたちは、真夏のころと比べて数が増えてきたようです。ブッドレアの花には次から次へといろんな種類がやってきますが、一番多いのはイチモンジセセリです。蝶では唯一、稲の害虫とされているもので、色も茶色であまりきれいではないため、見かけても蛾だと思ってる人もいるかもしれません。でも、一方で渡りをする蝶としても有名で、こんな小さな蝶が海を渡って遠くまで旅をすると思うと、なんだか健気で可愛く見えてきます。

上越の面白い生き物 ６５．

クロバナヒキオコシ　　良薬は....あくまでも苦し

空が日増しに高くなり、吹く風もようやく涼しくなった秋の野で、クロバナヒキオコシの、黒紫色の小花をいっぱい着けた枝が風にそよいでいます。大きさは７ミリちょっとと地味ですが、花冠の濃紫色と黄緑がかった柔らかそうな葉との対比が鮮やかで、なかなか良い感じです。以前、妙高高原でこの花の群生に出会いました。早朝だったので、朝露にぬれた花が折からの朝日にキラキラと輝き、紫水晶の小粒が連なったよう、まるで宝飾品のような美しさで、思わず息をのんでしまいました。ややこしい名前も、「黒花引起こし」と書けばよくわかります。仲間にはヒキオコシという種類もあり、こちらのほうは花の色が青紫色という以外はほとんど同じですが、高田近辺ではまず見かけません。元上教大教授　長谷川先生のお話では、西頚城の青海や長野県の古間のあたりには多く見られるとのことです。

ヒキオコシという名の由来について、江戸時代の百科事典「和漢三才図会」には「俗にいう比木乎古之(ひきおこし)、引起すの意味は『起死回生、死にかけた人をも生き返らす』という意味である。」とし、続けて　「弘法大師が、山中で腹痛のためまさに死なんとする人に会い、この草を与えたところ忽ちにして癒えた。よってこの草を延命草という。」と出ており、これはこの仲間の草に含まれるエンメインなどの苦味成分によるもので、健胃薬として、腹痛や、食欲不振に、センブリの代用とし使われます。戦時中、生薬の外国からの輸入が途絶えたときは、代用品として活躍したこともあったようです。

それにしてもこの草の苦さは強烈です。ずっと昔の話。私は高校で生物部に所属していましたが、そこでは野外観察の折、新入生にクロバナヒキオコシの葉を食べさせるというのが慣例になっておりました。はじめての者は一口噛んで、その苦さにビックリ、目を白黒させる様子を見て、皆が笑う　という悪戯をよくやりました。では最初に仕掛けられたのは誰かというと、日ごろ「物は五感を使って覚えよ」が口癖の、顧問の先生だったに違いないと思っています。

興味を持った方は、ぜひ一度お試しを。吐き出した後もずっと後まで残る苦さを実感してください。これが効くんですよ。

（ハ）